

愛しのアイリーン (2018)

メディア 映画

ジャンル コメディ ロマン스 サスペンス

製作国 日本

色彩 Color

時間 137分

初公開日 2018/09/14

公開情報 スターサンズ

映倫 R15+

【キャッチコピー】

二人で歩む、
地獄のバージン・ロード。

【解説】

嫁不足の農村で悶々とした人生を送り続けた40過ぎのダメ男を主人公に、人間の剥き出しの愛と業を力強い筆致で描ききった新井英樹のカルト的傑作漫画を「ヒメアノ〜ル」「犬猿」の吉田恵輔監督が実写映画化した衝撃のバイオレンス・ラブストーリー。気弱な主人公がフィリピン妻を連れ帰ったことで様々なトラブルが吹き上がる中、次第に暴走していく愛と欲望の行方を妥協のない過激さで描き出す。主演は「俳優 亀岡拓次」「家に帰ると妻が必ず死んだふりをしています。」の安田顕、共演にナッツ・シトイ、伊勢谷友介、木野花。

42歳になる農家の息子・穴戸岩男。いまだ独身の彼は、年老いた母と認知症の父と暮らしながら、パチンコ店で働いていた。女性とまるで縁のなかった岩男は、同僚のシングルマザーを相手に手痛い大失恋を味わったのをきっかけに、コツコツ貯めた300万円をはたいてフィリピンでの嫁探しツアーに参加することを決意する。やがて岩男がそこで見つけたアイリーンを連れて帰郷してみると、父はすでに亡くなっていて、実家はその葬儀の真っ只中だった。母のツルは溺愛していた息子がいきなりフィリピン人を嫁にしたことが我慢ならず、激しい怒りの矛先をアイリーンへと向けるのだったが…。

【クレジット】

監督 吉田恵輔

製作 河村光庸

瀬井哲也

宮崎伸夫

企画 河村光庸

エグゼクティブプロデューサー 河村光庸

岡本東郎

プロデューサー 佐藤順子

行実良

飯田雅裕

アソシエイトプロデューサー 市山尚三 Shozo Ichiyama

ビアンカ・バルブエナ Bianca Balbuena

長井龍

ラインプロデューサー 古賀奏一郎

| | | |
|---------|--------------|---------------------------|
| 原作 | 新井英樹 | 『愛しのアイ リーン』（太 田出版刊） |
| 脚本 | 吉田恵輔 | |
| 撮影 | 志田貴之 | |
| 美術 | 丸尾知行 | |
| キャスティング | おおずさわこ | |
| 音楽 | ウォン・ウィンツァン | Wong Wing Tsan |
| 主題歌 | 奇妙礼太郎 | 『水面の輪舞 曲』 |
| 照明 | 斉藤徹 | |
| 録音 | 川本七平 | |
| ヘアメイク | 橋本申二 岩谷友子 | |
| スタイリスト | 小磯和代 | |
| 助監督 | 松倉大夏 | |
| 出演 | 安田顕 | 宍戸岩男 |
| | ナッツ・シトイ | アイリーン・ゴ ンザレス |
| | 河井青葉 | 吉岡愛子 |
| | ディオンヌ・モンサント | マリーン |
| | 福士誠治 | 正宗 |
| | 田中要次 | 竜野 |
| | 品川徹 | 宍戸源造 |
| | 伊勢谷友介 | 塩崎裕次郎 |
| | 木野花 | 宍戸ツル |
| | 左時枝 | |
| | 古賀シュウ | |
| | 山野海 | |
| | 桜まゆみ | |
| | 山岸門人 | |
| | 内藤トモヤ | |
| | 富山えり子 | |
| | 加藤満 | |
| | 篠塚勝 | |
| | 村上和成 | |
| | ガンビーノ小林 | Gambino Kobayashi |
| | 三島ゆたか | |